

Table with columns for 事務事業名, 基本政策, 政策, 施策, 事業期間, 事業の内容, 事業費の主な内訳. Includes details for '水田農業経営確立対策・支援事業 稲転事業' and budget breakdown.

1 現状把握(DO)

1) 事務事業の目的と指標

Table for activity goals and objectives. Includes sections for 活動, 対象, 意図, and 上位目的.

Table for activity indicators (活動指標), target indicators (対象指標), and result indicators (成果指標).

(2) 事業費・指標の推移

Large table showing financial trends and indicators from 2019 to 2026. Columns include 年度, 単位, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 最終年度.

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table for situational changes and public opinion. Includes questions about the start of the project and stakeholder feedback.

(4) 改革改善の取り組み状況

Table for reform and improvement efforts. Includes questions about implementation status and reasons for non-implementation.

事務事業名	水田農業経営確立対策・支援事業 稲転事業)	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 需要に応じた米の生産を推進し、米の需給と価格の安定を図ることは、市の政策と整合している
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 需要に応じた米の生産を推進し、米の需給と価格の安定を図るためには行政の関与が必要である
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 国の食料自給率の向上による政策であり、制度内容も悪くはないので継続する意味合いは大きい
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 自給率向上事業・米戸別所得補償事業への加入条件が整っているが、制度の理解不足があり加入申請をしなかった人に対してフォローすることで成果が高まる。また、一度施行した制度を早々に廃止しないよう継続していくことで、農家への周知が徹底されるので、成果は向上する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 生産調整推進に支障が出る。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】 国の生産調整事業の補完ができないため、市の生産調整目標の達成ができない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 米の生産調整は、必要な施策である。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 市においては、米の生産調整を行う必要があり、国の農業者戸別所得補償制度についても、申請受付・現地調査が必要になるため、業務量が増える傾向にある。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 市内の水田耕作者に対して全数調査を実施しているため偏りは無い

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の制度が戸別所得補償事業となり、米需給の生産調整による目標面積については、直接国の事業との関わりはないが、市として目標達成に取組む必要がある。新制度に合わせた奨励金支給基準を設定したが、今後は制度の定着を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性、の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について 国や県などに要望し制度設計を改めさせる 農業者戸別補償制度の周知の徹底を図る 市の生産調整目標達成が図られる生産調整奨励金制度を検討する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 国の法改正が難しく、農業者に理解が得ずらい 国の制度説明が後手後手で、担当者への説明が3月～4月下旬までであったが、決定は4月の下旬。この事業の施行は4月1日であり、動き出しながら考える事業スキームを国が改める 申請に関する資料が多く、しかも分りにくい。農業者には簡単で明瞭な資料を送付する必要がある	(5) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					